

授業科目 バレーボール

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	スポ
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○		○	○	
【概要・一般目標：G10】 バレーボールに関する技術及びルール、審判法等の知識や理論を学ぶとともに、その指導法を理解する。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> <li>バレーボールの競技特性を理解する。</li> <li>バレーボールのルールを理解する。</li> <li>バレーボールの基礎トレーニングとその指導法を学ぶ。</li> <li>バレーボールの攻防の個人的技能を学ぶ。</li> <li>バレーボールの攻防の集団的技能を学ぶ。</li> <li>試合等の総合練習を通して競技能力を高める。</li> </ol>				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	授業ガイダンス、バレーボールの特性理解			講義・実技
2	簡易ゲーム			実技・グループワーク
3	オフェンスの個人技能練習（パス）			講義・実技
4	オフェンスの個人技能練習（パスとレシーブ・トス）			実技・グループワーク
5	オフェンスの個人技能練習（スパイク・サービス）			実技・グループワーク
6	ディフェンスの個人技能練習（パスアタックのレシーブ、スパイクのブロック）			講義・実技
7	ディフェンスの個人技能練習（サーブスレシーブ）			実技・グループワーク
8	個人技能を中心とするゲーム			実技・グループワーク
9	攻撃の連携プレイ練習（3段攻撃・時間差攻撃等）			講義・実技
10	防御の連携プレイ練習（サーブレシーブからの攻撃、カバーリング等）			講義・実技
11	連携プレイ中心のゲーム			実技・グループワーク
12	オフェンスの組織的プレイ練習（フォーメーション等）			講義・実技・グループワーク
13	ディフェンスの組織的プレイ練習（サーブスレシーブ又はスパイクレシーブからのフォーメーション）			講義・実技・グループワーク
14	総合的な試合及びルール・審判法の学習			実技・グループワーク
15	総合的な試合及び審判法の学習、学習のまとめ			実技・感想文
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特になし			
参考書	特になし			
その他の資料	毎時間、教師が指導資料を作成、使用する。			
【評価方法】 出席状況、授業態度、技能、知識・理解力から総合的に判定する。		【履修上の留意点】		